

2003年4月8日

## 中央線のイメージアップが始まります 阿佐ヶ谷駅があたらしく生まれ変わります

JR東日本では、21世紀のあたらしい駅づくり「ステーションルネッサンス」の推進の中で、その具体的な取組み“みんなのえきプロジェクト”を進めています。

中央線全体のイメージアップを目的として、画一的だった中央線高架タイプの駅を地域の特色にあわせてリニューアルしていきますが、第一弾として、2003年5月2日（金）に阿佐ヶ谷駅があたらしく生まれ変わります。

具体的には、駅周辺の景観との調和を図り、地域に開かれた駅のイメージをつくるため、地域に親しまれる環境デザインを取り入れた駅の顔づくりを行います。

また、分散していた駅施設を集約し、バリアフリー化を推進する一方、ホーム上諸設備を改良することにより、使いやすく、快適・清潔な駅へリニューアルします。

同時に、お客さまの利便性の向上を目的とし、駅構内に生活拠点駅に相応しい魅力ある店舗ゾーン「Dila阿佐ヶ谷」がオープンします。

### 1. 新生阿佐ヶ谷駅の概要

#### (1) 地域に開かれた駅づくり

ガラスを多用した外装による駅周辺の景観に調和した駅の顔づくり

中杉通り側へあらたに駅出入口の新設

駅周辺の環境対策としての駐輪場の確保(約300台分)(6月使用開始予定)

#### (2) 快適・清潔な使いやすい駅へリニューアル

バリアフリー整備として、エスカレーター(3基)増設、エレベーター(2基)新設

床・天井等を改良し、明るいコンコース空間を創出

ホーム上の視認性・安全性のために、柱・床面の改修を行い、ホーム上諸設備をトータルデザインとして再配置

多機能トイレの新設(7月使用開始予定)

#### (3) 魅力ある店舗ゾーンの充実

生活支援・クイック対応として、9店舗から構成された「Dila 阿佐ヶ谷」がオープン

広告のサイズ・形状の統一化による駅の魅力向上

## 2. 「阿佐ヶ谷駅リニューアルオープンセレモニー」の概要

日 時 5月2日(金) 10:40～11:00(予定)

場 所 阿佐ヶ谷駅南口駅前広場

内 容 関係者によるテープカットと阿佐ヶ谷ジャズストリートによる音楽演奏会

### 【参考】

#### [阿佐ヶ谷駅の歴史]

明治22年4月 中央線新宿～立川間開業

大正11年7月 阿佐ヶ谷駅開業

昭和39年9月 中野～荻窪間高架化

昭和41年4月 新駅舎(現存)完成

中野～荻窪間複々線化完成

#### [阿佐ヶ谷駅データ]

住所 東京都杉並区阿佐ヶ谷南3-36-1

1日平均乗車人員 44千人(2001年度)

列車本数(平日) 1,165本(快速線680本、緩行線485本)